

INNOVATION
MADE BY GEUDER®

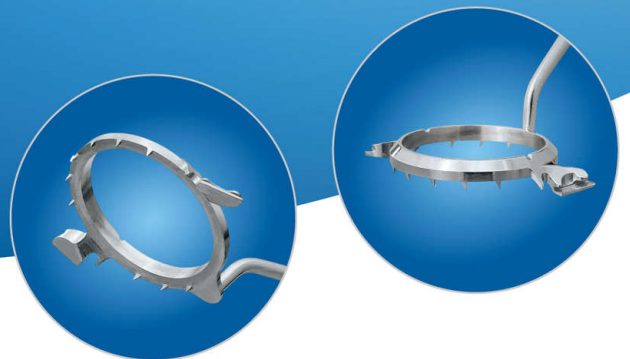
YAMANE

DOUBLE-NEEDLE STABILIZER

山根氏ダブルニードル・スタビライザー
IOL強膜内固定術(フランジ法)手技の標準化のために



G-31496 山根氏ダブルニードル・スタビライザー 30G針用



GLOBE FIXATION RING
AND NEEDLE GUIDE
FOR FLANGED INTRASCLERAL
INTRAOCULAR IOL FIXATION

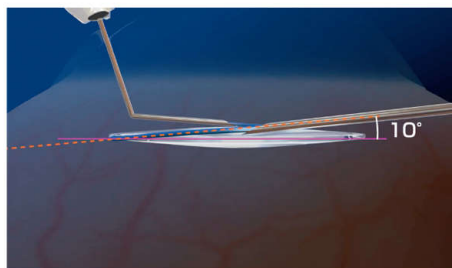
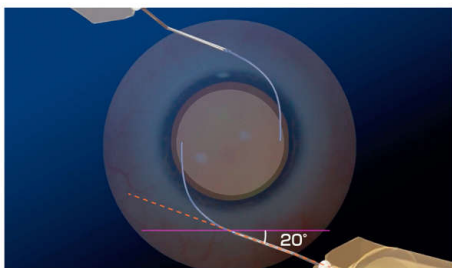
Geuder®
Precision made in Germany



G-31496 山根氏ダブルニードル・スタビライザー 30G針用 ¥128,000

【課題】

IOL強膜内固定術(フランジ法)では、アクシスマーカー、カリパー、インクを使用し強膜切開の刺入ポイントを特定します。しかし、結膜に針を刺入し強膜まで進入させ強膜トンネルを作製する際、刺入角度を適切に維持することは難しく、再現性と標準化が課題でした。



【解決法】

山根氏ダブルニードル・スタビライザーは、強膜切開刺入ポイントのマーキングを容易にし、強膜トンネル作製時のより確実な操作を可能にします。リングに設けられた突起が、眼球をしっかりと固定し(図1)、針はガイドに沿って標準化された角度で刺入されます(図2・3)。

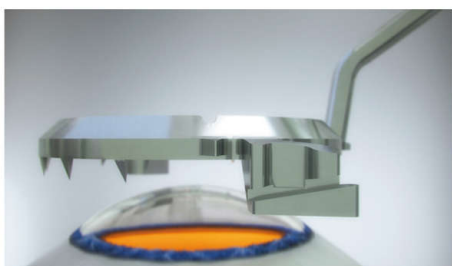


図1 眼球を固定

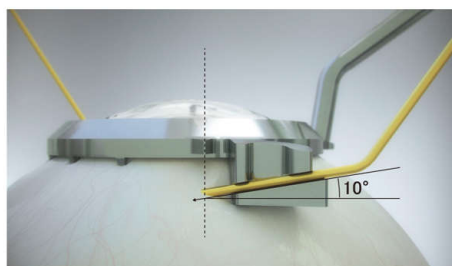


図2 ニードルガイドと角度

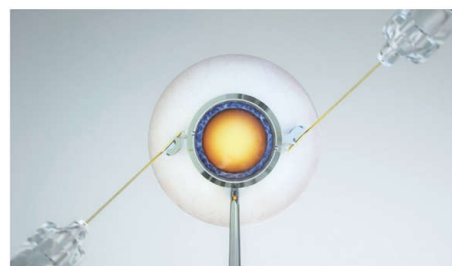


図3 針は標準化された角度で刺入

【器具の特徴】

- 本製品は180度対側2か所、角膜輪部から2mmの位置に針が刺入できるように設計されています。そのため、アクシスマーカーとカリパーの使用が不要になります(図4)。
- リング状の本体には2つのウイングがあり、ウイングには針を通す溝(ニードルガイド)が設けられています(図4・5)。
- この溝に沿って針を進めることにより角膜輪部に対して20度内向き、虹彩面に対し10度下向きに刺入されます(図4・2)。角度が一定になる事で 偏心・傾斜の無いIOL固定が可能になります。

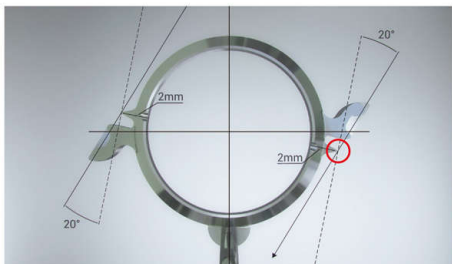


図4 ウイングと刺入ポイントガイド
刺入ポイントガイドが、強膜切開時のマーキングを容易にします。



図5 ニードルガイド

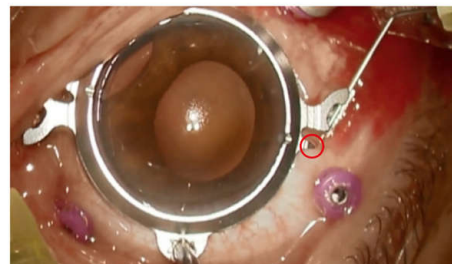


図6 強膜への刺入